

## トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2018年2月3日～2018年2月9日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通して見ると対米ドル、対円で下落しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

1月の消費者物価指数は事前の市場予想を下回り、2017年11月のピークから2カ月連続で減速しました。減速の背景には2017年1月に価格が急騰した食料品やタバコの価格上昇率が大幅に低下したことが挙げられます。

トルコ金融市場では、米国債の金利上昇などをきっかけに米国株式が大きく下落したことを受けて、投資家のリスク回避姿勢が高まったことなどから、通貨・債券共に軟調な推移となりました。

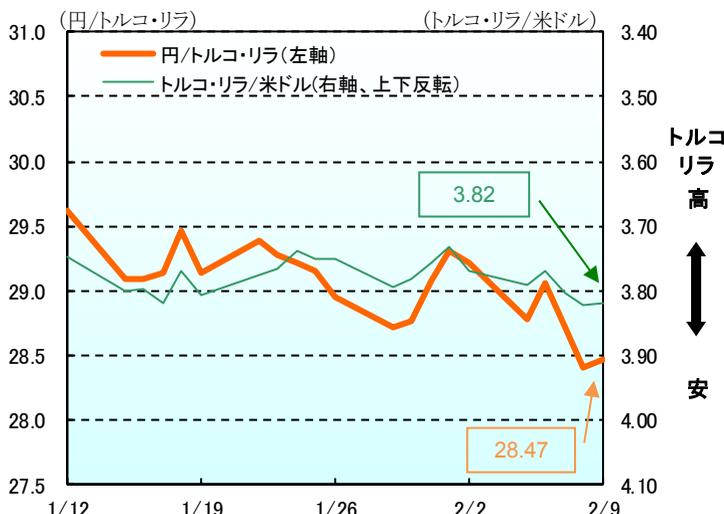
### 【2】今週の見通し

今週は12月の経常収支の発表が予定されています。事前の市場予想では前月よりも赤字額が拡大することが見込まれています。

市場では月初の米国株式の下落を受けた混乱は落ち着きを取り戻しつつありますが、引き続き米国の利上げへの警戒感は強いまととなっています。14日（現地）に発表される米国の消費者物価指数に注目が集まっており、仮に米国の利上げへの警戒が強まる場合には、投資家のリスク回避姿勢が一段と高まる可能性も考えられます。

一方で、トルコの経済状況には大きな変化は無く、政府の景気刺激策を背景とした堅調な個人消費や欧州向けの輸出の増加により景気の回復が続いており、状況が落ち着きを見せれば再びトルコに注目が集まりやすいと考えます。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年1月12日～2018年2月9日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【トルコ 金利推移】

(2018年1月12日～2018年2月9日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>